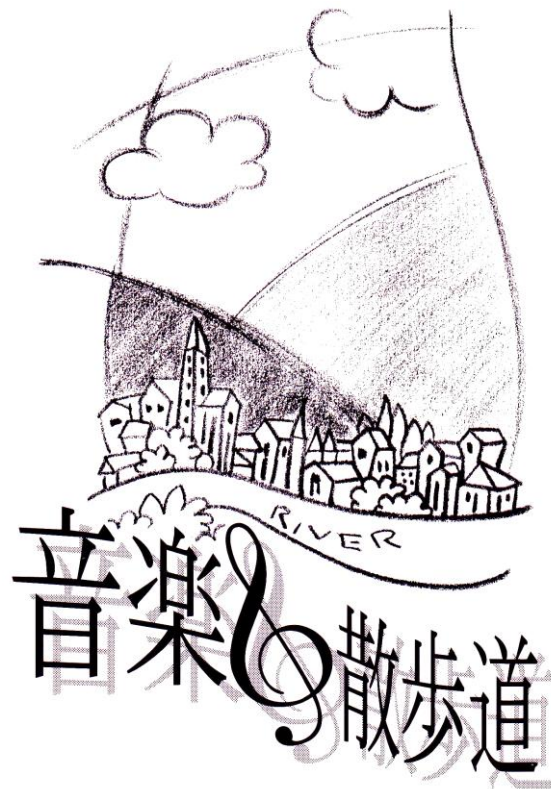


バロック音楽の輝き

2005年7月8日(金) 7:00pm

宝塚ベガ・ホール



プログラム

Jan Pieterszoon SWEELINCK (1562~1621)
Fantasi a Chromatica

J.P.スウェーリンク
半音階的幻想曲

Dietrich BUXTEHUDE(1637~1707)
Praeludium und Fuge in D

D.ブクステフーデ
前奏曲とフーガ 二長調

Johann Sebastian Bach (1685~1750)
Sonata I in Es BWV525
I -
II Adagio
III Allegro

J.S. バッハ
ソナタ 第1番 変ホ長調
I -
II アダージョ
III アレグロ

Praeludium und Fuga in e BWV 548

前奏曲とフーガ ホ短調



Antonio VIVALDI(1678~1741)
Concerto in re minore RV 540
I Allegro
II Largo
III Allegro

A.ヴィヴァルディ
協奏曲 二短調
I アレグロ
II ラルゴ
III アレグロ

Arcangelo CORELLI(1653~1713)
Sonata X in B op.5-10
Preludio Adagio
Allemanda Allegro
Sarabanda Largo
Gavotta Allegro
Giga Allegro

A.コレッリ
ソナタ第10番 変ロ長調 作品5の10
プレリュード アダージョ
アルマンド アレグロ
サラバンド ラルゴ
ガボット アレグロ
ジューグ アレグロ

Georg Philipp TELEMANN(1681~1767)
Konzert in c
I Andante
II Allegro
III Largo
IV Allegro assai

G.Ph. テレマン
協奏曲 ハ短調
I アンダンテ
II アレグロ
III ラルゴ
IV アレグロ・アッサイ

バロック音楽の輝き

今夜のプログラムは、前半をホールのオルガンで独奏、後半にリコーダー、アーチリュート、ポジティブオルガンでのアンサンブルをお聴きいただきます。

初期バロック期に、多くのドイツ人オルガニスト・作曲家を生み出した、オランダのスウェーリンク、生涯をドイツで過ごしながら、時代の流れを取り入れ、独自の世界を築いたバッハ、そして彼に大きな影響を与えたブクステフーデ、バッハより4歳上でありながら、バロック期の終わりと共に次の時代を感じていたテレマン、そしてイタリアの2人の巨匠コレツリとヴィヴァルディの作品です。

すべての作品を通してこの時代の音楽は、ある音から、いろいろなリズムと情緒を伴い、方向を変えながら横に向かって進む、いくつかの線的なものの積み重ねと、その底辺から湧き上がる、色彩豊かな和音の響で創られています。そこでは、絵画に見る光と影、静けさとみなぎる躍動、静止と流動、重厚と軽快、協和と不協和が、調和のとれた模様のモザイクを描きだしています。そのような作品に接するとき、万華鏡の、色と形の違った小片が、次々と創りだす美しい模様を楽しむのと同じように、音楽を感じとりたいと思います。

高田 富美



出演者

中村 洋彦／リコーダー

エリザベト音楽大学宗教音楽学科卒。第4回全日本リコーダーコンクールにおいて最優秀賞を受賞。1981年、82年、84年に渡欧、研鑽を積む。1987年第1回リコーダーリサイタルの成果に対して大阪文化祭奨励賞を受賞。リコーダーを花岡和生、フラウト・トラヴェルソを有田正広の各氏に師事。1993年より『笛の楽園』と題してリサイタルを開催。現在、相愛大学非常勤講師、ダンスリー・ルネサンス合奏団所属。

高本 一郎／アーチリュート

幼少よりギターを始め「第3回読売ギターコンクール」銀賞など数々のコンクールに入賞。相愛大学音楽学部卒業後、フランス国立ストラスブール音楽院にて研鑽を積む。毎年、欧州各地の古楽音楽祭に参加し、2001年にはその演奏がフランス全土に TV 中継された。ヨーロッパ・アジア各国での数多くのコンサートをはじめ、国内外の著名な音楽家との共演、CD 録音、TV・ラジオ出演、CM 音楽製作、オペラ・バレエ・演劇・狂言・朗読・講談の舞台に参加するなど多彩な演奏活動を展開している。「日本テレマン協会」ソリスト、「ダンスリー・ルネサンス」のリュート奏者。2001年 1st ソロアルバム『le luth ~ 天使のアリア・風の舞曲』をリリース。リュートを今村泰典、H.Smith、E.Ferre、L.Contini の各氏、バロックギターを R.Lislevand 氏に師事。

高田 富美／オルガン

相愛女子大学音楽学部オルガン専攻卒業。その後、ドイツ・ヴェストファーレン州立教会音楽学校に留学。1993年以来、オルガンとその他の楽器・声楽による演奏会を「音楽の散歩道」シリーズで企画している。また、独奏、室内楽・合唱などとの共演等、演奏活動を続けている。奈良YMCA音楽院講師。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。



「音楽の散歩道」は、
純粹に自分達の音楽を高め極めていきたいと望んでいる演奏者が、
集まってくるところです。自然でシンプルなコンサートを企画し、
そこでより良き音楽を創り出していきたいと思っています。
私達の演奏を聴きに来て下さる方々、演奏会を影の力で支えてくれる人達、
そして演奏者も含めて、その場にいる人達が豊かな気持ちになれることを願いながら、
ゆっくり歩んでいます。

今後の演奏会予定

2005年11月11日(金) 7:00pm 秋篠音楽堂

「風の音楽」

3本のリコーダーとヴィオラ・ダ・ガンバ、オルガンによるバロック音楽のタベ

リコーダー: 中村洋彦 弥永寿子 白木絵美

ヴィオラ・ダ・ガンバ: 坂本利文 オルガン: 高田富美

ホームページ <http://www.kcn.ne.jp/~sanpo/>

E-mail: sanpo@kcn.ne.jp